

横浜、歌や映像で訴え

音楽や映像を通じて、

平和を考えるステージが21日、横浜市泉区の泉公会堂で開かれた。被災地や海外の紛争地で人々の心のケアを行っている認定NPO法人「地球のステージ」の代表理事で心療内科医の桑山紀彦さん(53)＝海老名市＝が現地

(吉田 太一)

桑山さんは活動を続けるパレスチナ自治区ガザなどでの絶えない空爆に「やり返したらやり返す。大人の愚かしい行動」と批判。心のケアのため、絵を描かせたり演劇を催したりするうちに、将来の夢や希望を抱く子どもたちの映像を見せながら、「困難があるからこそ大事な目標が見え、目が輝いてくる」と話した。

東日本大震災時に宮城県名取市でクリニックの院長だった桑山さんは、現在も

被災地やパレスチナ 苦境に思いはせて



歌と映像を交えて平和を訴える桑山さん—泉公会堂

同市内にNPO法人の事務所などを構え、被災者の心のケアに当たる。

震災から5年が経過した今、あの日に向き合い語る

ことで前に進むとする被災者を紹介。「よい聞き手が増えることで、よい語り部がたくさん生まれる。ぜひ

ひ現地にも来てほしい」と呼び掛けた。

2人の子どもを連れて、ステージを聞いた高橋久留美さん(45)＝横浜市泉区＝

は「語り方も優しく、家族で命のことを考えるよいきっかけになりました」と話していた。

同ステージは認定NPO法人WE21ジャパンいずみ部が主催し、230人が参加した。